

令和 7 年度 恵庭市の取り組みについて

1. 自主防災組織の現況

・自主防災組織数及びカバー率の推移(各年度末時点)

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7(予定)
恵庭市組織数	39 団体	40 団体	42 団体	42 団体	42 団体	43 団体	45 団体	46 団体
恵庭市カバー率 (※)	83.0%	85.2%	86.9%	87.0%	86.9%	87.7%	91.8%	93.9%
全道カバー率	60.5%	61.4%	64.4%	64.2%	75.6%	76.9%	80.3%	%
全国カバー率	83.2%	84.1%	84.3%	84.4%	84.7%	85.4%	85.9%	%

※ カバー率＝「自主防災組織の活動範囲にある世帯数」／「全世帯数」

2. 避難所運営マニュアル

・標準版避難所運営マニュアル

長期間の避難を余儀なくされるような大規模災害が発生した際に、町内会・自治会や自主防災組織、避難者、施設管理者等が協力し、円滑な避難所運営や良好な生活環境を確保するための標準的なマニュアル(「恵庭市避難所運営マニュアル」)を平成 29 年 3 月に作成しました。

令和 2 年 5 月、北海道胆振東部地震災害検証委員会の提言や厳冬の避難所運営訓練の成果を踏まえるとともに、新型コロナウイルスを含む感染症対策を加えた内容の改正を道が実施したことを受け、恵庭市としても避難所運営マニュアルを改正しました(令和 2 年 6 月一部改正)。

更に令和 6 年能登半島地震の教訓等を踏まえた避難所運営に係る国のガイドラインや北海道地域防災計画の修正等を反映して、令和 7 年 3 月に北海道版避難所運営マニュアルが全部改正されたことを受け、恵庭市の標準版避難所運営マニュアルの見直しを実施中です。

・地域版避難所運営マニュアル

平成 29 年度からは、地域や避難所の実情に応じて必要な内容を加えた避難所ごとの「地域版避難所運営マニュアル」の作成に向けた取り組みを以下のとおり進めています。

《令和 7 年度の取組み状況》

恵庭小学校版の作成

《これまでの取り組み状況》

- ・平成 29 年度 柏陽中学校版
- ・平成 30 年度 恵庭中学校版
- ・令和 元年度 島松小学校版
- ・令和 元年度 恵庭南高等学校版
- ・令和 2 年度 島松公民館版
- ・令和 3 年度 柏小学校版
恵み野小学校版
- ・令和 5 年度 恵み野旭小学校版
- ・令和 6 年度 若草小学校版
- ・令和 7 年度 恵庭小学校版



3.1 日防災学校

防災教育を通して児童生徒の「生きる力」、「想像力」を育むと共に、学校・地域・行政の連携による地域防災力の向上を図ることを目的として、恵み野中学校、柏陽中学校、恵庭中学校で実施したほか、恵庭南高等学校に協力しました。

①恵み野中学校

実施日	令和 7 年 9 月 6 日(土)
参加機関等	恵庭市、恵み野中学校校区関係者、北海道危機対策課、地域防災マスター
授業概要	防災講話「災害に備えて」(全学年共通)、Do-HUG(第 1 学年)、避難所資機材等操作体験(第 3 学年) ※2 年生は別途救急救命講習を受講

②柏陽中学校

実施日	令和 7 年 9 月 18 日(木)、11 月 18 日(火)
参加機関等	恵庭市、柏陽中学校校区関係者、北海道危機対策課、地域防災マスター
授業概要	9 月 18 日:避難所資機材等操作体験(第 1 学年・第 2 学年) 11 月 18 日:防災ファシリテーション(第 3 学年)

③恵庭中学校

実施日	令和 7 年 12 月 6 日(土)
参加機関等	恵庭市、恵庭中学校校区関係者等、北海道危機対策課、地域防災マスター
授業概要	防災講話「災害に強いまちづくり」(全学年共通) ※講師は北海道危機対策課 危機対策調整員が務めた。 第 3 学年発表「震災・防災学習の成果」 カード(第 1 学年)、避難所設営体験(第 2 学年)、Do-HUG(第 3 学年)

④恵庭南高等学校全日制

実施日	令和 7 年 9 月 3 日(水)
参加機関等	恵庭市
授業概要	防災講話「災害に備えて」(全学年共通)

⑤恵庭南高等学校定時制

実施日	令和 7 年 11 月 4 日(火)
参加機関等	恵庭市
授業概要 (全学年共通)	防災講話「地域で想定される災害と防災・減災のための心構えについて」 避難所資機材等操作体験

4. 出前講座等(講師派遣)

町内会、学校、各種事業所等からの注文に応じ、防災講話、避難所開設要領の指導、Do-HUG(避難所運営ゲーム)やDIG(災害図上訓練)の進行等を実施しています。

令和 7 年度も令和 6 年度に引き続き、出前講座開催地周辺のハザードマップを詳細に解説する等、災害の少ない恵庭市において、災害時の避難行動や自主防災組織の活動について「自分事(じぶんごと)」として捉え易いような工夫を更に推進しました。

《実績》～次ページ

年 度	令和 6 年度	令和 7 年度
対象:件数	○町内会・自主防災組織:16 件 ○高齢者クラブ:3 件 ○小中学校・高校・長寿大学:7 件 ○学校運営協議会:2 件 ○教職員向けイベント:1 件 ○障がい者支援団体・福祉事業者:4 件 ○児童向けイベント:4 件 ○その他イベント:2 件 計 39 件	○町内会・自主防災組織:22 件 ○高齢者クラブ:3 件 ○小中学校・高校・長寿大学:15 件 ○教職員向けイベント:1 件 ○障がい者支援団体・福祉事業者:7 件 ○児童向けイベント:2 件 ○その他イベント:8 件 計 58 件

5. 災害時応援協定の締結

大規模な災害が発生することに備え、他の地方公共団体や民間事業者等と協定を結び、迅速かつ広域的な災害対策を実施できる体制を構築するため、災害時応援協定(全 92 件)を締結しています。

《令和 7 年度の締結先》

- ①(一社)ジャパン・レンタル・アソシエーション
→災害時における資機材の供給に関する協定(令和 7 年 4 月)
- ②北海道吉野石膏(株)
→災害時における協力体制に関する協定(令和 7 年 6 月)
- ③(株)ダイイチ
→災害時における物資支援等の協力に関する協定(令和 7 年 12 月)
- ④北海道立恵庭北高校
→指定避難所に関する協定(令和 8 年 3 月)

6. 恵庭市災害対策本部訓練の実施

毎年1回、実際の災害をモデルにした想定に基づき図上訓練を実施しています。令和7年度は、本格的な冬の到来に先立って12月18日に訓練を実施し、厳冬期に起こり得る様々な状況に際し、災害対策本部としてどのように対処するか、また、各種の情報を如何にして伝達・共有するか等について検証しました。

・災害想定:複合災害(風雪害及び大地震)

- 第1状況「暴風雪に起因する各種事象への対応」
- 第2状況「第1状況対応中に強い地震(震度5弱)が発生した場合の対応」
- 第3状況「第2状況対応中に大雪警報が発表された場合の対応」

・検証項目:①早期注意情報、注意報、警報、緊急地震速報等の発表時における体制

- ②事故・立往生・帰宅困難、火災、家屋倒壊、停電等発生時の各部署の対応と連携
- ③避難所開設、市民周知、避難者の誘導・輸送に関する連絡調整
(個別避難計画の運用を含む。)
- ④災害対策本部内における情報管理、特に「情報の優先順位」と「誰がどのような情報を必要としているか」を判断する考え方や手段と共有要領
(GISオペレータの運用、災害救援マップの使用法等を含む。)

7. 避難行動要支援者個別避難計画の現況

令和 6 年度から計画作成を開始し、令和 8 年 2 月 28 日時点の状況は次のとおりです。

- ・計画作成同意者:219 人(うち床上浸水想定区域居住者 23 人)中
- ・計画完成した方:208 人(うち床上浸水想定区域居住者 21 人)

8. 緊急防災ラジオの助成販売

J アラートなどの緊急放送時に、自動起動・割込み放送により防災無線の内容を聴取できる防災ラジオを販売しました。

- ・販売価格:5,000 円(市で約 1/2 助成後の価格)
- ・販売台数:当初 50 台(R7.11)⇒即日完売したため、追加で 50 台販売(R8.3.10)し、即日完売。

9. 北海道地域防災マスターの養成とフォローアップ

北海道では、災害時に地域で防災活動のリーダーとなる人物を「北海道地域防災マスター」として認定し、地域での防災活動を活発にする取り組みを行っています。市は、地域防災の担い手育成のため、地域防災マスター認定研修を恵庭に招致して開催し、地域人材の掘り起こしを行いました。

また、既にマスターの認定を受けている方を対象に、地域防災力向上のための意識醸成と防災知識等の普及・啓発を目的としたフォローアップ研修を開催しました。

(1)令和 7 年度北海道地域防災マスター認定研修会 in 恵庭

開催日時:令和 7 年 11 月 24 日(月・祝) 10:00~16:30

参加人数:41 名(うち市外在住者 7 名)

研修内容:①北海道地域防災マスター制度について

②恵庭市の災害・防災について

③Do-HUG(北海道版避難所運営ゲーム)

④応急救護について

(2)令和 7 年度地域防災力向上セミナー(防災マスターフォローアップ研修)

開催日時:令和 8 年 2 月 11 日(水・祝) 13:00~16:00

参加人数:22 名

研修内容:①北海道地域防災マスターの活動実績と期待される役割について

②新たな防災気象情報体系について

③DIG(災害図上訓練)について